

#### 救護施設やしおみ荘

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27  
TEL(0246)89-3333 FAX(0246)89-3334

#### 知的障がい者通勤寮 レジデンスなこそ

〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1  
TEL(0246)78-1336 FAX(0246)65-4160

#### 指定相談事業・地域生活相談室せんとらる

〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1  
TEL(0246)65-5222

#### 知的障がい者更生施設ふじみ更生園

ショートステイほっと  
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384  
TEL(0246)89-3400 FAX(0246)89-3454

#### 虹のかけはし

〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7 植田ビル2F  
TEL(0246)77-2885 FAX(0246)77-2886

#### ワークセンターしおさい

〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10  
TEL(0246)73-2077 FAX(0246)73-2078

#### 手打ちうどん 天真庵

〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7  
TEL(0246)77-2033

#### ヘルパーステーションあくていぶ

〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7 植田ビル3F  
TEL(0246)62-8810 FAX(0246)62-8810

#### 児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ

〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23  
TEL(0246)73-2033 FAX(0246)73-2034

## 知的障がい者のケア・グループホーム「コーポおかおな」事業所開所 日本財団改修費助成ありがとうございます



この度、敷地面積617平方メートル、延床面積393.42平方メートルの鉄骨造り2階建築14年の社員寮を地元有力者の賃貸貸し、日本財団の既存建物の改修による新規拠点の整備事業として860万の助成金を受け、居室9部屋・浴室

2個・トイレ2箇所・厨房・食道兼居間・事務所・管理人室等の改修整備をし、平成21年4月1日、小名浜岡小名地区に「コーポおかおな」の名で定員9名の知的障がい者ケア・グループホームが開所致しました。住宅街ですが徒歩3分で商店街・飲食街・金融機関などがあり、自立に向けた日常生活訓練の場が提供できる環境が整備されている地域です。バス等の交通機関を利用しやすい利便性もあるため、余暇活動や就労先への通勤等多方面へ出かけやすい立地条件が整っています。日本財団より助成を受け建物を改修し新規事業を開始したことは、障がい者が今後、地域移行に向けた生活をすすめていく上での拠点の場としていきます。

## 日本財団 2008年度軽トラックありがとう！

この度、地域福祉の向上を目的とした日本財団様の助成を受け、小規模多機能型 就労継続支援事業B型「虹のかけはし」に事業総額85万8千円に対し、助成金額64万円を受け、スバル「サンバー」の幌付き軽トラック1台を購入しました。車両が配備されたことにより、作業製品であるダンボールの運搬や焼きたてパンの配達、また、地元イベントでの販売等でも幌付き車両で小回りが利くということもあり、雨の日も風の日も走り回り大活躍をし

ています。今後、車両を活用し、効率良い作業を行い生産性アップに努めていきます。



# 社会福祉法人誠心会

## 地域生活相談室せんとらる主催セミナー

について検討すべき。

平成21年2月7日(土) スパリゾートハワイアンズ「ラビーター」にて、県内外の施設関係者、役所関係者、保護者など、昨年開催の同セミナー参加人数を超える200名以上の参加のもと、昨年同様「障害者自立支援法の到達点を予測する」をテーマに講演会を開催しました。

理事長、共催のいわき市長 榎田一男様よりご挨拶があり、衆議院議員 吉野正芳様に「祝辞を頂きました。多くの方々に支えられ、この講演会が無事に開催されましたことを心から感謝申し上げます。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。」と紹介いたします。

### 演題「障害者自立支援法の到達点を予測する」

厚生労働省 社会・援護局  
障害保健福祉部  
障害福祉課長 藤井 康弘氏

### 《障害者自立支援法の見直しについて》

◎社会保険審議会障害者部会・報告概要  
障害者自立支援法施行後3年の見直しで対応すべき事項、及び今後更に検討していかなければならない事項について取りまとめ、今後とも、実施状況や取り巻く環境の変化を踏まえて見直ししていく見直しに当たっての視点は以下の4点である。①障害者にとってよりよい制度となるかどうかという「当事者中心に考えるべき」という視点②障害者ができるだけ地域で自立して暮らせるようにするという基本理念の下「障害者の自立を更に支援していく」という視点③安定的なサービス提供体制の確保という観点も考慮しながら、不

都合については改善を図り「現場の実態を踏まえて見直ししていく」という視点④障害者の自立を国民皆で支え、共生社会を実現していくために「広く国民の理解を得ながら進めていく」という視点」の4点である。

### ◎具体的な内容

- 1、相談支援
  - 地域の相談支援体制の強化や質の向上。相談支援の拠点機能の設置。
  - サービス利用計画作成の対象者をすべての障害者に拡大するとともに、ケアマネジメントに基づいて市町村が支給決定する仕組みを導入。
  - 自立支援協議会の法律上の位置付けを明確化
- 2、地域における自立した生活のための支援
  - ①地域での生活支援
  - ②地域移行に向けた計画的な支援を充実するとともに、地域生活移行を支援するために、緊急時に対応できる24時間のサポート体制を充実。
  - ③グループホーム等について、夜間支援体制を充実。身体障害者を対象に。
  - ④就労移行支援事業・就労継続支援事業の充実、工賃増進計画の推進、官公需の優先発注等により、障害者の就労を推進。
  - ⑤所得保障
  - ⑥障害基礎年金の水準の引き上げ等については、社会保障制度全般の議論との整合性や財源の確保なども含め、検討すべき。
  - ⑦住宅費は、高齢者や母子施策との整理も必要であり十分な検討が必要。他方、地域移行という観点から必要となる費用の支援
- 3、障害児支援
  - 障害児の施設は、多様な障害の子どもを受け入れられるよう一元化するともに、保育所等への巡回支援の機能を充実。
  - 放課後や夏休みの支援のため「放課後型のデイサービス事業」を実施
  - 入所施設について、満18歳以降は障害者施策で対応するように見直し。支援の継続性や、重症心身障害児・者の児者一貫した支援に十分に配慮。
- 4、障害者の範囲
  - 発達障害や高次脳機能障害が、法の対象に含まれることを明確化。
  - 難病等への支援をどのような制度体系で行うかは、今後更に検討。
- 5、利用者負担
  - 利用者負担の在り方は様々な意見があり、今後とも更に検討が必要だが、現在の利用者負担の仕組みについて、所得に応じてきめ細やかな軽減措置が講じられていくことについて、国民に明確にしていくことが必要。
  - 特別対策等による負担軽減は、平成21年4月以降も更に継続して実施。
  - 障害福祉サービスと補装具の利用者負担を合算して軽減する制度を検討。自立支援医療との合算は、医療保険制度との関係等を含め、今後更に検討。
  - 心身障害者扶養共済給付金の収入認定時の取扱いや、利用者負担軽減の際の資産要件の見直し等について、検討が必要。
- 6、報酬
  - 障害福祉サービスの室の向上、良質な人材の確保と事業者の経営基盤の安定等のため、平成21年4月に報酬改定を実施。
  - 「日払い方式」を維持しつつ、事業者の安定的な運営が可能となるよう報酬を見直し。利用者が欠席した場合等においても体制を整えていることなどにも着目して、報酬改定等において必要な措置。
  - 旧体系の施設が新体系へ移行する際、安定的に運営できるように、報酬改定等において更に配慮。
  - ①サービス体系
  - ②障害程度区分
  - ③身体障害、知的障害、精神障害を各々の特性を反映するよう抜本的に見直し。実際に行われていた支援の実態に関する調査を早急の実施。
  - ④障害者支援施設の入所の要件について、重度の者という基本的考えを維持しつつ、障害程度区分が低い者であってもケアホーム等での受入れが直ちに困難な者は、一定の要件の下で困難でざるようにすべき。
  - ⑤旧法の施設に入所していた者の継続入所は、平成24年4月以降も継続。
  - ⑥訪問系サービスの国庫負担基準は区分合算とともに継続しつつ、重度の者に配慮しながら額の見直し。小規模な市町村への財政的



な支援を検討。  
③地域生活支援事業(統合補助金) ④重度の視覚障害者の移動支援などを、自立支援給付とすること

を検討。  
○小規模作業所の移行のため、地域活動支援センターについて、より少人数での活動形態を検討すべき。  
④サービス基盤の整備  
○福祉人材確保指針に基づく取組みを進めるとともに、適切な給与水準を確保するため、適切な報酬を設定。  
○中山間地帯等のサービスを確保するため、報酬上の加算措置、多機能型事業所の人数要件の緩和、小規模施設への配慮を検討。

⑤虐待防止・権利擁護  
○障害者の虐待防止について、現行法に基づく取組とともに、虐待防止法制を検討。  
○「成年後見制度利用支援事業」等の活用を進める。  
⑥精神保健福祉施策  
○精神科救急医療体制や、市町村保健所、精神保健福祉センターの相談支援体制を充実。精神保健福祉士の養成の在り方等を見直し。  
⑦その他  
○障害者の権利に関する条約の批准に向けて検討が進められるべき。

### 《講演会を終えて》

講演後、参加された事業所、行政、保護者等、沢山の方々から質疑がありました。講師の藤井課長には、沢山の障害者福祉の現場の声を聞いていただき、今後の施策に反映していただきたいとお言葉をいただきました。今回のような、現場の声を届けられる機会を設ける事ができ、生の声を伝えることができた事は大きな収穫でした。この講演を通して、今後の支援の一助にしたいと思っております。

# 新年会



## ふじみ更生園

平成21年1月16日(金)、新年会が行われました。この日が来るのを首を長くして待っていた皆さん。お気に入りの洋服を着て少しおめかしをし、ウェディングパーク八幡台やまたまやへ向かいました。今年の新年会は職員の琴演奏から始まり、素敵な調べに聴き入っていました。乾杯を終えると、目移りしてしまうほどのたくさんのご馳走をお腹いっぱいいただき、会食後は楽しみにしていた阿呆鳥のコンサート。ステージに上がり阿呆鳥と一緒に大熱唱。満面の笑顔で新年のスタートを切ることができました。今年一年何事もなく、皆さんが元気に過ごせますように…。



## やしおみ荘

1月22日(木)「八幡台やまたまや」にて新年会を行いました。やまたまやは結婚式など催し物も行う会場のため、華やかな雰囲気にもまれ、新年会が始まる前から皆さんウキウキとした様子でした。

上遠野施設長の挨拶に続き、利用者の「カンバイ！」の高らかな掛け声で会食となりました。しばしの間、料理を堪能していると、職員の仮装による「なつかしのメロディー&パフォーマンス」続いて名物、永沼課長による「ギターの弾き語り」で盛り上がると、いよいよメインイベント。



11月にキングレコードからデビューした福島県相馬出身の演歌歌手 こおり健太さんのコンサートが始まりました。幕が開いたとたん、利用者の握手攻めになり大盛り上がり。デビュー曲「口紅哀歌」「さいはて港町」の他、懐かしいメロディーでまた大盛り上がり。ついには踊りだす方まで。最後はみんなで練習し「口紅哀歌」を大合唱。さらなる大興奮でオーバーヒート寸前。アンコールの嵐で、もう一曲歌っていただきました。

興奮冷めやらぬまま新年会は幕を下ろしました。帰りの車の中でも「たのしかった！」と口々に感想を話していました。来年も皆元気でまた大盛り上がりできますように。

## レジデンスなこそ・グループホーム／ケアホーム(ほりきり、あたご)

1月18日(日)レストランみなかわにて新年会(成人を祝う会)が行われました。参加者はレジデンスなこそ利用者17名、グループホームほりきり3名、グループホームあたご3名、保護者3名、職員5名と、地域移行してアパート暮らしとなったTさんも特別参加しての総勢32名で行われました。

新成人の利用者3名の挨拶があり、口々に「早く自立したい」「結婚したい」など将来に向けての力強い抱負が聞かれました。ジュースやビール等で乾杯した後、

利用者一人ひとりの挨拶になりそれをきっかけに普段交流の少ない利用者とも話が弾んでいました。また、保護者と職員の交流にもなり有意義なものとなりました。余興のカラオケでは、普段話さない利用者がマイクを持ち(歌は歌えないけれども)熱唱したり兄弟でデュエットしたりと、大いに盛り上がりました。その後職員、利用者と合同でパラパラを踊り、新年と20歳のお祝いを締めくくりました。

# 豆まき

## レジデンスなこそ・グループホーム／ケアホーム(ほりきり、あたご)

グループホームあたごの節分が世話人と利用者女子4名で行われました。節分の飾り付けを行い、玄関に向かって大きな声で鬼退治をしました。去年は不況で休職に追い込まれた利用者もおり、仕事ができる事と今年1年の無病息災を祈願していました。その後歳の数だけ豆を美味しく食べこれからも頑張っていく事を誓っていました。

## ワークセンターしおさい

今年も2月3日(火)に恒例の豆まきを行いました。数日前から「豆まきしたい!」「早くやりたい!!」と待ちきれないようでした。作業が終了すると早く掃除を終え、豆まき開始。思い切り投げ方・やさしく投げ方など、それぞれの投げ方でしおさいの鬼を追い出し、幸せを呼び込んだ節分でした。最後は用意されたお菓子を食べ、お腹いっぱいでした。

## ふじみ更生園

「鬼は外、福は内」の元気な声が通りに響き渡った2月3日、節分。

食堂に集合し、節分の由来について話を聞いた後、年男、年女の利用者と職員

が力を合わせて豆まきを行いました。まいた豆やチョコレートを上手にキャッチ、そしてすかさず口に放り込むその笑顔は福の神そのものでした。今年も一年、大きな病気やケガなく楽しく過ごしていく、そう確信した一日でした。



## 「布あそび工房」開催

天真庵

2月1日(日)天真庵に吉田登志先生を招いて、午前・午後の2回「布あそび工房」が開催されました。吉田先生は小さいころから物を作ることが好きで抱き人形を作り始めてから33年。昨年5月からはいわき市平で教室を開かれています。

天真庵には数日前から先生の作品の抱き人形、吊るし雛など愛らしい作品の数々が展示されており、いつもの天真庵がアートギャラリーに大変身。作品を見ながら少しでも先生の作品のように…と、参加

された皆さんはひと針ひと針丁寧にすすめ、先生にアドバイスを頂きながら熱心に作品づくりに取り組まれておりました。作品づくりを終えた後は、ちょっと一服。かわいらしい作品と、天真庵の食事で心もおなかも満たされ大満足。有意義な一日となりました。



## 大倉保育園児との交流 やしおみ荘

2月26日(木)午前10時から体育館にて、毎年恒例の大倉保育園の園児の皆さんと交流会が実施されました。

今回参加してくれた園児は、年中さんと年長さん合わせて58名。鉄腕アトムやミッキーマウスの歌に合わせてかわい踊りや、メロディオンを使ったとても上手な演奏などを披露してくれました。

やしおみ荘の利用者も手拍子を打ったり、体を動かしたりしながら、園児たちの演技を笑顔で楽しんでいました。

最後には園児たちから利用者へ、お花や心のこもった大きな手作りの絵や貼り絵のプレゼントが手渡され、利用者から園児たちには、おやつのパンのお土産が手渡されました。

帰りには、「また来てね。」「また来るよ。」の挨拶を交わしてお別れしました。

大倉保育園の皆さん、ありがとうございました。来年も是非いらして下さいね。



## 施設改修工事 やしおみ荘

やしおみ荘も築30年を間近に控え昨年末、浴室、医務室の改修並びに、屋根の塗装工事を行いました。医務室は安全面、使い勝手を考慮した作りとなり、利用者の健康管理を行う場として、よりよい環境となりました。浴室は段差を無くし、手すりを多く設置し、高齢化に対応した作りとなりました。何より、優しい色使いの壁には富士山が描かれちょっとした温泉気分が味わえます。いつもの入浴が、ほっと癒される時間となっているようで「富士山はここで、雲はここだね。」「きもちよかった。あったまったよ。」と話される姿を見かけることが多くなりました。湯につかりながら利用者同士の会話も弾み、つつい長湯になってしまう方も…毎日過ごす空間がよりよく改修されたことで、利用者・職員とも気持ちも新たに新鮮な気持ちで利用しております。



## やしおみ荘に車イスを寄贈

やしおみ荘

1月23日(金)第一生命労働組合福島支部より車イスを1台寄贈していただきました。

福島支部では地域の社会福祉に貢献する目的で平成16年から年2回、県内5ブロック(福島、いわき、県南、郡山、会津)の職員から夏・冬の賞与時に募金を集め、その浄財をもとに県内各施設などにこれまで60台の車イスを寄贈されています。

贈呈式はやしおみ荘で行われ「働いている人の善意です。有効に活用してもらえれば」との言葉とともに送られました。荘では利用者も高齢化しているため、歩行力が弱まっている方が増えつつあります。歩行が困難な利用者のために大切にに使わせていただきたいと思います。この場をお借りして感謝の気持ちを申し上げます。

## キワニスドール贈呈式

ちゃーむ

2月20日、民間の国際奉仕団体・福島キワニスクラブ様より、キワニスドールを贈呈していただきました。

キワニスドールとは、会員さん一人一人が作った木綿生地によりポリエステル綿を詰めた真っ白な人形です。小児科病棟では、内臓を描いたドールの部位を指差して患者の子ども達から病状を聞いたり、治療の説明をしたりして恐怖心を取り除きつつ、診察や治療をスムーズに進めるのに利用されているそうです。

ちゃーむの子ども達は、キワニスドールに好きな色で顔や洋服を描き、個性的でかわいらしい人形に変身させていました。今後、ちゃーむでも、コミュニケーションの一環として活用させていただきたいと思います。

この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。



## 送別会 レジデンスなこそ・グループホーム/ケアホーム（ほりきり、あたご）

3月31日（火）レジデンスなこそその食堂でS・Mさんの送別会が行われました。参加者はレジデンスなこそ利用者と職員等の18名が参加しました。S・Mさんの挨拶では、しっとりとした思い出話をしていました。利用者からは、S・Mさんへの励ましの言葉が相次ぎました。その後の会食では利用者が力を合わせて作ったクリームシチューに豚しゃぶサ

ラダをおいしそうに全員残さず食べていました。最後に自治会役員から利用者、職員で書き込んだ色紙とプレゼントを手渡し、S・Mさんも笑顔でレジデンスなこそを後にしました。



## 平成20年度 福島県知的障害施設合同研修会に参加して ふじみ更生園 渡辺 誠二郎

平成21年2月19日～20日にかけて磐梯熱海温泉、ホテル華の湯で開催された、平成20年度福島県知的障害施設合同研修会に参加しました。「みんなの望みを合わせ、安心できる福祉社会を築こう～障害者自立支援法のさらなる見直しに向けて～」というテーマのもと、1日目は「安心して生活できる福祉社会を目指して」と題した講演、「暗雲の自立支援法だから、できることからはじめよう～当事者・行政・事業者一体で創造しよう～」をテーマに全国知的障害者施設家族会連合会会長の由岐透氏をシンポジストに迎え、安心できる福祉社会についてのシ

ンポジウムが行われました。2日目は、県内のそれぞれの地区に分かれ、保護者、施設の方が地域移行への思い、取り組みを報告し、それを踏まえて障がい者が安心できる福祉社会について話し合いが行われました。自立支援法が施行され3年が経とうとしている今、保護者の方々はこの法律によって障がいをもったわが子は今後どうなっていくのだろうという強い不安を持っており、保護者の方々に安心を提供していく為には障がいを持った方に対してのしっかりとしたライフプランを提示していく必要があると強く感じました。

## 平成21年度 辞令交付式

平成21年3月31日（火）ふじみ更生園交流ホームふじみの里にて、平成21年度辞令交付式が行なわれました。新規採用職員等への辞令交付後、理事長より訓示を頂きました。

- ①日常的に空気を読む（気配り、洞察力を持つ）
- ②サービス提供における細やかな感性・配慮③豊かな先見性④短絡的な対応をしない⑤希望を持つ
- ⑥広い視野・高い視点を持つ⑦他文化に触れ視野

を広げる⑧普段の努力を続け自分を高める⑨「こうなりたい」と言う強い意思を持つ⑩自分は出来ると思う

以上10項目の訓示の他、先輩職員は後輩職員を丁寧に指導し、早く一人立ちできるように。自分たちの事業所は自分たちの力でという思いを持ち貢献していけるように。とのお話をいただきました。職員一同肝に銘じ、一丸となり、心新たに新しい年度を迎えたいと思います。

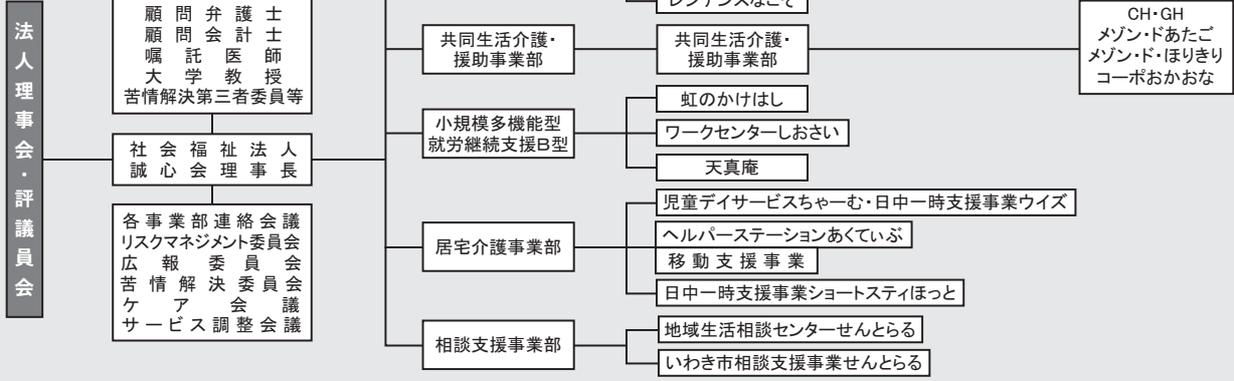
## 誠心会 苦情解決実績集計表

（平成20年10月1日～平成21年2月28日）

分類	やしおみ荘	ふじみ更生園	レジデンスなこそ	ほりきりあたご/GH・CH	SSほっと	あくていぶ	ちゃーむ	ウイズ	虹のかけはし	しおさい	天真庵	せんとらる	計
1. 食 事	3	1	1										5
2. その他のケア		1					2						3
3. 看護サービス	1	1											2
4. 医療サービス													0
5. 生活支援													0
6. その他のプログラム	9								3	1			13
7. 相談・連絡		1			1	1	1		2				6
8. 居住環境	5	1											6
9. 職員の対応	1(1)		1		1	2			1	1			7(1)
10. 利用者に関するもの	23	2	3						1				29
11. 制度に関するもの									1	1			2
12. そ の 他	7	1							3				11
合 計	49(1)	8	5	0	2	3	3	0	11	3	0	0	84(1)

\*要望も含まれる、( )は未解決扱い

# 平成21年度 社会福祉法人 誠心会「組織表」



## 人事異動

氏名	新	氏名	新
渡辺 誠二郎	入所事業部ふじみ更生園生活支援部主任ケースワーカー	安島 智江	居宅介護事業部ヘルパーステーションあくていぶ 主任サービス提供責任者兼管理者
森 真也	入所事業部ふじみ更生園生活支援部ケースワーカー	千葉 亮	入所事業部やしおみ荘生活支援部ケースワーカー
下山田 有希	入所事業部ふじみ更生園生活支援部ケースワーカー	大野 逸美	入所事業部やしおみ荘生活支援部ケースワーカー
藤田 裕介	入所事業部ふじみ更生園生活支援部臨時ケースワーカー	青田 かおり	入所事業部やしおみ荘生活支援部臨時ケースワーカー
後藤 絵里	入所事業部ふじみ更生園生活支援部臨時ケースワーカー	三浦 勇紀	入所事業部やしおみ荘生活支援部臨時ケースワーカー
竹山 博司	入所事業部ふじみ更生園生活支援部臨時ケースワーカー	佐川 ちづる	入所事業部やしおみ荘生活支援部臨時ケースワーカー
栗城 宏尚	入所事業部ふじみ更生園生活支援部看護師	松崎 加奈子	通所事業部就労継続支援事業B型（虹のかけはし） ケースワーカー
矢吹 美和	地域生活相談事業部地域生活相談室せんとらる 主任相談支援員兼指定相談事業管理者	野本 彩	通所事業部就労継続支援事業B型（ワークセンターしおさい） 臨時ケースワーカー
箱崎 博道	地域生活相談事業部地域生活相談室せんとらる 相談支援員	関根 亮	通所事業部就労継続支援事業B型（天真庵） 臨時ケースワーカー
小宅 幸恵	居宅介護事業部児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ主任ケースワーカー兼管理者	篠崎 剛	共同生活事業部ケアホーム・グループホーム臨時生活支援員
四釜 大樹	総務部付庶務課事務員・出納職員		
前田 知絵美	総務部付庶務課事務員・出納職員		

## 編集後記

暖かく過ごしやすい季節となりました。（花粉症の方にはあまり嬉しくない季節かもしれませんが…）

前年度の反省を生かしつつ、新たな気持ちで前向きに新年度をスタートしたいと思います。

## これからの予定

### やしおみ荘

- 4月 ◎お花見 10日(金)
- 5月 ◎ふれあい交流会6日(水)
- ◎ウォーキング (未定)
- 6月 ◎市民総ぐるみ運動・ピデオ鑑賞会・街頭花植え (全未定)

### ふじみ更生園

- 4月 ◎お花見 10日(金)
- 5月 ◎ふれあい交流会6日(水)
- ◎連休一時帰省6日(水)～
- ◎障がい者総合体育大会 17日(日)

### 虹のかけはし

- 4月 ◎お花見 13日(月)
- 5月 ◎植田歩行者天国5日(火)
- 6月 ◎ハートフルなこそフリーマーケット (未定)

### ワークセンターしおさい

- 4月 ◎花見 9日(木)
- 5月 ◎植田歩行者天国5日(火)

### レジデンスなこそ

- 4月 ◎歓迎会
- ◎花見

- 5月 ◎障害者スポーツ大会

### 天真庵

- 4月 ◎お花見
- 5月 ◎植田歩行者天国 5日(火)

### チャーむ

- 4月 ◎花見
- 5月 ◎こどもの日 (こいのぼり製作)
- 6月 ◎陶芸